

# 新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

問い合わせ 新型コロナウイルスワクチン接種推進室  
 コールセンター ☎0120-567-350

## 追加接種（3回目接種）について

新型コロナウイルスワクチンの追加接種（3回目接種）を実施します。

1・2回目と同様に医療機関での個別接種、または公共施設などでの集団接種により接種を受けることができます。予約方法や接種場所、ワクチンの種類など、詳しくは、今後、順次郵送する接種券に同封のチラシや、市ホームページをご覧ください。

●対象者：2回目の新型コロナウイルスワクチン接種から8か月経過した18歳以上の方

●接種券の発送：接種を受けた月により異なります。左の表のスケジュールで発送します。

### 接種券発送スケジュール

接種券の発送時期は、2回目の接種を受けた月により異なります。

2回目接種を受けた月	接種券発送予定時期
令和3年3月	令和3年11月末
4月	12月上旬
5月	12月末
6月	令和4年1月末
7月	2月末
8月	3月末
9月	4月末
10月	5月末
11月	6月末

**対象者や接種時期などは、変更となる場合があります。ありますので、ご承知おきください。**

**1・2回目の接種は2月末までです**

1・2回目の接種を終えていない人や今後12歳を迎える人で、ワクチン接種を希望される方は、令和4年2月末までに、2回目接種が終了するよう医療機関での個別接種をご利用ください。

※接種を実施する医療機関は、市ホームページをご覧ください。

●ワクチンの接種には本人の同意が必要です。強制されるものではありません。

●接種費用は無料です。



ワクチン接種の申し込み



市長 伊藤 太

10月末に衆議院議員総選挙が行われました。各党は、コロナ対策や景気対策、生活支援、安全保障などの公約を掲げ、国民に約束をいたしました。公約の中身は、納得できるもの、首をかかげるものそれぞれあるなか、子ども庁の創設について、あまり議論をなされなかったことは残念ではありますが、創設が必要との認識は、ほとんどの政党が持っていると思います。

私も、最初に子ども庁の記事を見た時に期待をしました。しかし、最近の報道では、少子化対策や貧困・虐待問題、学習の機会の創出など、福祉面が前面に出ているようです。

春日井市は、子どもに関する政策を健康福祉部から独立させ、平成21年に青少年子ども部を設置し、さらに教育委員会の幼稚園に関する一部の事業を移しました。そして、妊娠から出産までの切れ目のない支援や待機児童の「0」を行うと同時に、

入院、通院の医療費無料化などを実施しています。もちろんまだまだ十分とは言えないかもしれませんが、「子はかすがい、子育ては春日井」宣言を行い、数々の施策を積極的に進めています。

しかし、省庁の所管の違いにより、対応が難しいところがあります。

例えば、小学生の放課後の居場所づくりにおいては、「子どもの家」と「放課後なかよし教室」の二本立てで推進していますが、使用する施設や指導員の資格など、一緒にできない現実があります。また、幼稚園と保育園の問題もそうです。幼稚園は文部科学省、保育園は厚生労働省が所管していますが、小学校には、幼稚園からも保育園からも入学します。

子育てと幼児教育、小中学校の義務教育をどのように進めるのかなど、長年の大きな課題に対応するためにも、子ども庁の創設にあたり省庁の壁を越えた議論を望んでいます。